県木協だより

令和８年１月（新春号）

編集発行　宮城県木材協同組合
仙台市青葉区東照宮一丁目 8-8
TEL 022-233-2883
FAX 022-275-4936
E-mail:mgmokkyo@mgmokkyo.com
URL:http://www.miyagi-wood.jp/

目　　次

１．新年のご挨拶
　　宮城県木材協同組合　　理事長　米澤光秀
　　宮城県水産林政部林業振興課長　大類清和
２．「木のプロ」講演会の開催
３．木質バイオマス及び合法木材事業者研修会
４．「北部管内県産材利用の動向」
　　宮城県北部地方振興事務所林業振興部
５．第２７回みやぎ木造住宅コンクールの実施
６．情報提供

１　新年のご挨拶　　宮城県木材協同組合　理事長　米澤光秀

新年明けましておめでとうございます。旧年中は本組合の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、改正建築基準法施行前の３月の駆け込みから一転、４月以降の新設住宅着工戸数の低迷が続き、記録的な円安、燃料費等の高騰を背景とした物価高が建材等の価格上昇を招いたことから、さらに消費者の住宅取得マインドを低下させ、木材産業の先行きが見通しにくい状況になっています。

このような中、木材は自然から得られる再生可能な資源であり、SDGs の広がりからその活用方法が問われており、建築基準法改正による木造の規制緩和、カーボンニュートラルの流れの中、非住宅における中層木造建築物が注目されております。当組合としましても、講演会の開催などを通じて、広く中層木造建築物「通称：よんもく」の建築の実現に向けた取組をはじめました。

今後、県木協としては関係機関との連携を強化し、業界全体で「みやぎの木のチカラ」を合言葉に地域材による木造・木質化が各分野で展開されるよう働きかけを行い、さらに一層努力して参りますので、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が県内の木材業界にとって飛躍の年になりますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とします。

スゴいぞ！　みやぎの木のチカラ

木×SDGｓ Wise use of woods from みやぎ！

新年のご挨拶　　宮城県水産林政部　林業振興課　課長　大類清和

新年を迎えるに当たり、謹んで御挨拶を申し上げます。宮城県木材協同組合会員の皆様には、日頃より本県の森林・林業行政の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、昨年、10 月 4 日と 5 日に開催した全国育樹祭では、多大な御協賛を賜り、重ねて御礼申し上げます。大会当日は、白石市の国立花山青少年自然の家南蔵王野営場で開催した『お手入れ行事』に約 240 名、利府町のセキスイハイムスーパーアリーナで開催した『式典行事』に約 2,700 名の方々の御出演・御参加をいただくなど、おかげをもちまして、無事成功裡に終えることができました。

さて、昨年も住宅着工戸数が減少傾向を示す中、依然としてつづく物価高や金融引き締めの影響も加わり、県内の林業・木材産業は厳しい状況がつづいております。人口減少に伴う住宅市場の縮小は避けられない課題であり、これまで以上に非住宅や中高層建築物での木造・木質化など、新たな木材需要の創出が重要であると認識しております。

このため、県といたしましては、県産材住宅への支援に加え、非住宅分野の建築物への支援を継続して実施するとともに、昨年から JAS 認証取得を目指す製材所等への支援を行うなど、非住宅分野の建築物に求められる品質や性能確かな木材の安定供給に向けた体制整備を図ってまいります。また、今後は、都市の木造化推進法に基づく建築物木材利用促進協定制度も活用しながら、非住宅分野での木材需要の創出に取り組んでまいります。

さらに、県産木材の需要拡大に向けては、構造材に限らず、内装材や家具への木材利用も促進するため、県産広葉樹の流通支援や付加価値を向上させるための商品開発などの取組についても、積極的に支援してまいります。

本格的な利用期を迎えた森林資源を基盤として、地域の林業・木材産業が持続的に発展・成長していくことは、脱炭素社会の実現や循環型社会の構築に重要な役割を担っていると感じております。

今後とも、素材や製材の需給状況や社会情勢等を注視しながら、県産木材の需要拡大に向け、必要な対策を講じてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

結びに、宮城県木材協同組合の今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、年頭に当たっての挨拶といたします。

2　「木のプロ」講演会の開催

県木協では、一般流通材を活用した非住宅建築は、木材業界全体の活性化に貢献するものと考えるとともに、都市における事務所ビルや共同住宅の中規模木造建築物の建築促進は、地方建築経済にとっても新たなビジネスモデルの創出につながるとの思いから、対象を建築に関わる設計者・施工者等の広い範囲を参集対象者として、「中層木造建築物の実現に向けて」を主テーマに下記の講演会を開催したところ、延べ２３０名程の参集者がありました。

①第１弾　日　時　令和７年８月２０日（水）13：30～　ホテル白萩２F「錦」
　　講　師　（株）まち・ひと・しごと研究所代表取締役　伊藤明子　氏
　　林野庁木材産業課木材製品技術室　室長　川原　聡　氏

②第２弾　日　時　令和７年１０月１０日（金）13：30～　ホテル白萩２F「錦」
　　講　師　（株）まち・ひと・しごと研究所代表取締役　伊藤明子　氏
　　北海道大学大学院工学研究院　教 授　平野 陽子　氏

③第３弾　日　時　令和７年１１月１３日（木）13：30～　ホテル白萩３F「萩」
　　講　師　東京大学生産技術研究所　教授　腰原　幹雄　氏
　　北海道大学大学院工学研究院　教授　平野 陽子　氏

講義風景

講師　伊藤明子 氏

講師　平野陽子 氏

講義風景　講師　腰原幹雄 氏

3　木質バイオマス認定事業者及び合法木材供給事業者研修の開催

当組合では、「発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者認定実施要領」及び「合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定実施要領」に基づき、認定を受けた事業者を対象に年１回研修を実施しており、当該受講を認定期間内に１回以上受講することを認定更新の必須要件としております。

◇発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者認定研修

日時　令和７年１２月１０日（水）13：00～13：30　ホテル白萩３F「萩」

講師　宮城県木材協同組合　専務理事　佐藤行弘

◇クリーンウッド法・合法木材供給事業者研修

日時　令和７年１２月１０日（水）13：45～15：00　ホテル白萩３F「萩」

講師　一般社団法人全国木材組合連合会　企画部　参与　加藤正彦　氏

4　「北部管内県産材利用の動向」　～住宅から非住宅へシフトチェンジ～

宮城県北部地方振興事務所林業振興部

北部管内は、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の 5 市町で構成されており、管内の森林面積は 45,539ha に及びます。このうち、スギを中心とした針葉樹は住宅などの建築用材やバイオマスエネルギーのチップ用材として、また、広葉樹は主に家具用材などに活用されています。

当管内で製材・プレカット事業を営む株式会社タカカツ建材は、地域材の活用を積極的に進めており、補助事業により導入したプレカット加工設備が令和 6 年 3 月から稼働したことにより、柱・梁の長物加工が可能になりました。さらに、設備導入に合わせて動線の見直しを行い、一連の作業工程の効率化が図られたことにより、プレカットの受注から納品までの期間短縮を実現しています。同社の原木消費量は、19,486 ㎥／年（R6）となっており、各工務店からの要望に応じて、ＪＡＳ規格に沿った製品を出荷しています。

しかし、昨今の新築住宅着工戸数の落ち込みにより、新たな市場開拓が急務となっており、その対策として、非住宅分野への移行を図るべく専門チームを編成するなど体制を強化しています。非住宅分野とは、事業所、店舗及び倉庫などであり、トラス材を使用するなど住宅とは異なる設計技術が必要となります。現在、同社における非住宅分野の受注（坪数）の割合は全体の 17%ですが、この割合を将来的に引き上げていくためには、構造設計事務所等への働きかけも視野に入れていく必要があります。

県としても、今後の市場動向を注視しつつ、幅広く情報収集を行いながら地域材の活用推進につながる補助制度を紹介するなど継続して支援してまいります。

㈱カタカツ建材プレカット工場

横架材加工機

非住宅物件に対応したトラス構造材

トラス構造材（縮小スケール模型）

5　第２７回みやぎ木造住宅コンクールの実施

本組合では、地域材や県産材を使用した快適な生活のできる家、個性ある丈夫で長持ちする家、SDGs の達成に貢献する家など、地域で建築された多様で優良な木造住宅を募集し、木造建築の良さや素材としての木材の優れた特性等を広く県民に紹介・啓発する目的で「みやぎ木造住宅コンクール」を実施しております。

今年で第２７回目となるコンクールには、県内から設計・施工者から１７棟の応募があり、第１次の書類審査、第２次の現地調査を経て、下記の結果となりました。

最優秀賞　　施工者：(株)興建ハウジング　設計者：由利設計工房　所在地：青葉区台原
優 秀 賞　　施工者：(株)サカモト　設計者：(株)ビオフォルム　同：柴田町
優 秀 賞　　施工者：(株)気仙沼工務店　設計者：施工者に同じ　同：泉区黒松
優 良 賞　　施工者：共栄ハウジング（株）　設計者：施行者に同じ　同：青葉区桜ヶ丘
優 良 賞　　施工者：(有)伊藤工設計　設計者：施行者に同じ　同：石巻市向陽町
優 良 賞　　施工者：Earth Home Engineer㈱　設計者：(有)neuk architects　同：青葉区郷六
特 別 賞　　施工者：(株)エスティー　設計者：(有)ササキ設計　同：泉区実沢

最優秀賞（施工者：(株)興建ハウジング　設計者：由利設計工房）

優秀賞（(株)サカモト　設計者：(株)ビオフォルム）

優秀賞（施工者：(株)気仙沼工務店　設計者：施工者に同じ）

6　情報提供

（１）令和７年度林野庁補正予算概要（木材関係）

林業・木材産業国際競争力強化総合対策＜一部公共＞

令和７年度補正予算額　44,993百万円

＜対策のポイント＞
林業・木材産業の体質強化や国内需要の拡大に向けて、**原木・木材製品等の生産体制の強化、森林の集積・集約化、スマート林業技術等の開発・実証と活用、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、日本産木材製品等の輸出拡大、林業の担い手の育成・確保等を支援**します。

＜事業目標＞
国産材の供給・利用量の増加（35百万m³［令和６年］→ 42百万m³［令和12年まで］）

＜事業の内容＞

1．林業・木材産業の生産基盤強化＜一部公共＞
路網整備、先進的な林業機械等の導入、再造林の低コスト化、木材加工流通施設の整備等を支援します。

2．森林の集積・集約化の実証・展開
森林の集積・集約化を促進するため、**国有林と民有林が連携**しつつ、**関係者による情報共有や合意形成、経営管理の一層の円滑化に役立つ条件整備等**の実証の取組を支援します。

3．スマート林業・DX等先端技術の実装の推進
森林資源情報のデジタル化、スマート林業技術の開発・実証と活用、木質系新素材の開発・実証を支援します。

4．建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）
中高層建築物等におけるJAS構造材の利用実証、CLT等に係る技術開発や建築実証、木造公共建築物の整備、木材利用による温室効果ガス（GHG）排出削減効果の「見える」化の促進等を支援します。

5．木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）
日本産木材製品のプロモーション活動、輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品・技術開発や性能検証の支援等を実施します。

6．林業の担い手の育成・確保
新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入、他地域・他産業との連携等を支援します。

＜事業の流れ＞

※国有林においては、直轄で実施

国 → 定額（1/2以内等）等 → 都道府県等 → 定額（1/2以内等）等 → 民間団体等（1、2の事業、3、4の事業の一部）

国 → 定額等又は委託 → 民間団体等 → 定額、1/2以内等 → 民間団体等（3、4の事業の一部、5、6の事業）

＜事業イメージ＞

林業・木材産業の生産基盤強化
- 木材製品の国際競争力の強化に向けた合板・製材・集成材工場等の生産性向上・高付加価値化のための木材加工流通施設の整備
- 原木の低コストかつ安定的な供給のための路網整備、先進的な林業機械等の導入、搬出間伐の実施　等

木材加工施設の整備

路網の整備

森林の集積・集約化の実証・展開
- 国有林と民有林が連携しつつ、関係者の協議による集約化に係る情報整備・共有や合意形成、ICT等を活用した森林調査や境界の明確化等の条件整備　等

地域協議会の開催

スマート林業・DX等先端技術の実装の推進
- 路網整備や施業集約化を省力化・効率化する森林資源情報のデジタル化
- 林業の安全性・生産性の向上に資する、スマート林業技術の開発・実証と活用　等

自動運転フォワーダ

建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）
木材製品の消費拡大に向けた
- 中高層建築物等におけるJAS構造材の利用実証
- CLTを活用した設計・建築等の実証
- 木造公共建築物の整備
- 木材利用による温室効果ガス排出削減効果の「見える」化　等

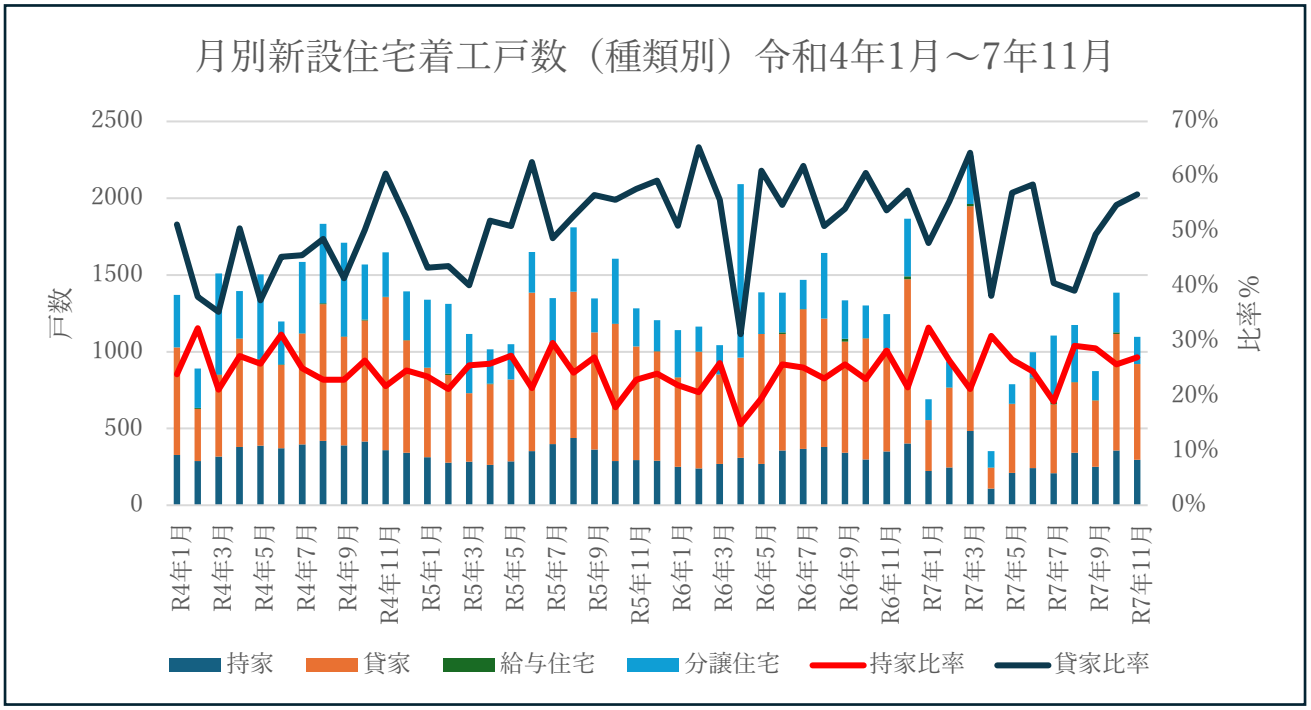
中高層建築物等におけるJAS構造材の利用実証

木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）
- 日本産木材製品の認知度向上
- 付加価値の高い木材製品の輸出促進に向けた製品開発・性能検証
- 特用林産物の輸出に向けた課題解決
- 改正クリーンウッド法の施行状況把握調査　等

輸出先国の規格・基準に対応した性能検査

林業の担い手の育成・確保
- 新規就業者が効率的な技術等を習得するための体系的な研修
- 労働安全衛生装備・装置の導入、他地域・他産業との連携等

労働安全装備

お問い合わせ先は次頁参照

（２）県内における月別新設住宅着工戸数の推移（種類別）